

# Sonata

## 第5回(2020年度)

知る・聴く・弾くで音楽の形式を学ぶ

# ソナタコンクール 参加要項

ブルグミュラーコンクールの次のステップにもおすすめ！  
古典期のソナチネ・ソナタのみが課題のピアノコンクール

みんな知ってる「ソナチネアルバム」からベートーヴェンの本格的なソナタまで。  
本選進出者は一流の講師陣によるレクチャーを無料で受講いただけます。  
ソナチネ・ソナタをじっくり学び、充実の秋にしましょう。

〔主催〕 株式会社東音企画

〔後援〕 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)

〔調律協賛〕 株式会社河合楽器製作所

 ピティナピアノコンクール

# 今年度より大幅リニューアル！ ソナタコンクールを 120%活用して、 音楽の基礎「古典期」を学びつくす

ソナタコンクール  
*Sonata*



## ソナタコンクールって何？

ソナタコンクールは、古典期のピアノソナタやソナチネを題材とし、音楽の形式を学び、豊かな表現と説得力のある演奏をめざしていただくことを目的としたピアノコンクールです。ピアノソナタ全楽章を通して演奏できる部門があることも大きな特色です。今年は、部門・課題曲を大幅に見直し、より参加しやすく取り組みやすい内容に刷新しました。ソナチネやソナタに取り組み始めた方々の成果発表の場として、また音楽高校・大学受験への力だめしの場としても幅広くご活用いただけます。「知る・聴く・弾く」で古典期の総合力をつけましょう。



## ジュニア部門でソナチネを弾こう！

ソナタというと大がかりな作品のように感じますが、短いソナチネにおいても音楽の「形式」を学びとることができ、教材としても非常に優れたものです。今年度は「ジュニア部門」を新設し、小学生の方に取り組んでいただきやすい課題を厳選しました。誰もが知っている有名なソナチネから、ハイドンの初期ソナタまでをお選びいただけます。「ブルグミュラー」などを修了し、本格的な音楽作品の世界に進まれる第一歩として、ぜひジュニア部門をご活用ください。



## マスタークラスで本格的な学びを

本コンクールの一番の特色は、本選進出者向けの「マスタークラス」です。一流の大学教授、ピアニスト、音楽研究者の先生方を講師にお迎えして、少数精鋭・双方向型の講座を展開します。ソナタ B 部門全楽章コースのファイナリストには、もれなく公開レッスンの受講をしていただけます。演奏を競い合うだけでなく、「知る」「聴く」という活動や参加者同士の交流から生まれるアカデミックな学びを重視したコンクールです。※コロナウイルス感染拡大の影響によってはオンライン開催となる場合がございます。



# 2020 年度の開催について

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さま、感染拡大により生活への影響を受けている皆さまへ、心よりお見舞い申し上げます。全国では、春～夏にかけてのコンクール・オーディションなどが軒並み中止となり、当コンクールも中止を検討いたしました。しかし、「正当な評価を受ける機会がほしい」「夏のコンクールに向けて準備していた曲を発表したい」というお声も多くいただき、感染の防止に最大限配慮しながら、開催することといたしました。

本年度は、**予選については全部門・全地区、動画提出**による審査とさせていただきます。動画審査においても、通常と変わらず、審査員からの講評つきの評点をみなさまにお渡しいたします。また、先生方から深いフィードバックをいただける機会として、**参加者限定企画「プライベートアドバイス会」**を開催できるよう調整を進めております。例年ご好評をいただいているマスタークラス・本選は、実地での開催を想定しておりますが、感染症拡大の状況によっては、オンラインや動画提出での開催となる可能性もありますこと、何卒ご承知おきくださいませ。

事務局といたしましては、参加者の皆さまの健康を第一とし、少しでも豊かな学びの機会を創出することに全力をあげてまいります。皆さまのエントリーをお待ちしています！

## 2020 年度の変更点

- ・ソナチネ全楽章部門を廃止しました。
- ・ソナチネ単楽章部門をジュニア部門に変更し、ソナタも演奏していただけるようになりました。
- ・ソナタ部門を課題曲の難易度で A 部門 / B 部門に分け、どちらの部門でも単楽章 / 全楽章でご参加いただけるようになりました。また、参加資格の上限年齢を変更、下限年齢をなくしました。
- ・予選（動画審査）は 1 回のみエントリーとなります。
- ・ソナタ全楽章部門予選奨励賞受賞者の「単楽章部門での本選進出権」がなくなりました。
- ・参加料を改定しました。ジュニア部門、ソナタ部門単楽章コースはより受験しやすくなりました。
- ・課題曲を大きく改定しました。詳細は課題曲一覧をご覧ください。
- ・マスタークラスの参加必須対象が「ソナタ B 部門全楽章コース」のみとなりました。

## 参加者限定！「プライベートアドバイス会」のご案内

動画審査により、予選では実地で演奏を聴いていただける機会がなくなりました。

その代わり、より丁寧で深いアドバイスをいただき、学びを深められるような別企画を本部にて考案中です。

予選（動画審査）にお申し込みいただいた方を対象としたオプション講座として、

実際に審査いただいた先生方と個別にオンラインビデオ通話をつなぎ、口頭での講評およびミニアドバイスレッスンをいただける「プライベートアドバイス会」を検討しております。

受講料金・受講方法・定員などは現在調整中です。（状況によっては、開催できない場合がございます。ご了承ください。）

後日、詳細をソナタコンクール Web サイトにて発表いたします！

今しばらくお待ちください。



## 部門・コース概要

本年度より、全3部門5コースでの開催となります。課題曲は p.9~11 をご覧ください。

ソナタ部門は、課題曲の難易度別に A/B 部門に分かれております。※参加料は税込み表示です。

部門	コース	参加資格	予選参加料	本選参加料
ジュニア部門		小6以下	7,200円	10,500円
ソナタ A 部門	単楽章	中3以下	9,600円	14,000円
	全楽章	高3以下	9,600円	20,000円
ソナタ B 部門	単楽章	高3以下	11,200円	16,000円
	全楽章	大4または22歳以下	11,200円	28,000円

### ◆ジュニア部門

本格的なソナタへの準備として、様式感をもつ良質なソナチネや規模の小さなソナタを題材とした部門です。単一楽章のみで参加できますので、取り組み始めた方にもおすすめです。

### ◆ソナタ A 部門（単楽章コース・全楽章コース）

比較的取り組みやすいソナタ作品を課題とした部門です。単一楽章で気軽に参加できる単楽章部門と、音楽の形式を深く勉強できる全楽章部門があります。

### ◆ソナタ B 部門（単楽章コース・全楽章コース）

本格的なソナタに挑む部門です。単楽章部門と全楽章部門があり、音高・音大受験対策にも最適です。

<ご注意>

- ・原則、一旦お支払頂いた参加料の払い戻しは致しかねますのでご了承ください。
- ・参加料 Web 振込の際に、システム使用料として1件につき330円(税込)を別途頂戴いたします。
- ・部門の併願はできません。
- ・年齢制限に下限はありませんので、応募資格を満たしていればどなたでもご参加いただけます。
- ・ソナタ B 部門全楽章コースは、浪人生など、高校卒業生の方も22歳以下であればご参加いただけます。

## 褒賞

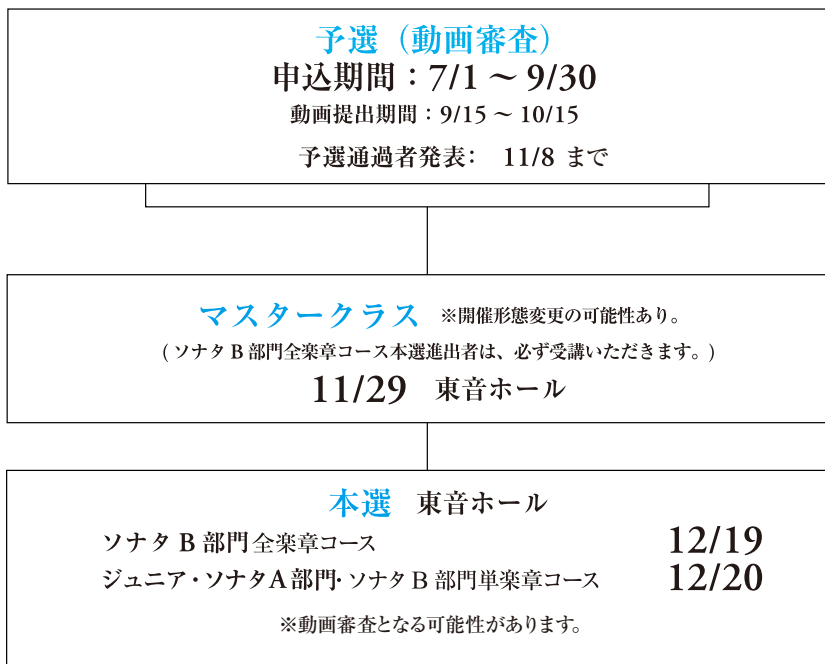
予選：各部門にて、優秀賞、奨励賞を選出。優秀賞受賞者は本選へ進出する。

本選：各部門で、金賞1名、銀賞1名、銅賞1名、(奨励賞若干名)を選出。

部門	褒賞内容
ジュニア部門	賞状、トロフィー
ソナタ A 部門	賞状、トロフィー、ベーレンライター版指定の楽譜からご希望の1冊
ソナタ B 部門 単楽章コース	賞状、トロフィー、賞金(金賞:3万円、銀賞:2万円、銅賞:1万円)
ソナタ B 部門 全楽章コース	賞状、トロフィー、賞金(金賞:5万円、銀賞:3万円、銅賞:2万円)

# 審査の流れ

2020年度 ソナタコンクール 開催スケジュール ※2020年11月11日現在



※部門割を変更いたしました。

# 開催日程・会場

※2020年6月25日現在

## 【予選】

部門	申込期間	動画提出期間
全部門	7月1日（水）～9月30日（水）	9月15日（火）～10月15日（木）

※審査結果は、11月8日までに公式Webサイトにて発表するとともに、通過者に個別に通知します。

※期間内であっても、定員になり次第締め切ります。

## 【マスタークラス】 ※オンライン開催となる場合もございます。

受講対象者	日程	会場
ソナタB部門全楽章コースの本選進出者	11月29日（日）	東音ホール

受講対象以外の予選ご参加者は、無料で聴講いただけます。（要別途申込）

やむを得ずご欠席される場合は、かならず本選のお申込み前にご連絡ください。

## 【本選】 ※最大限、実地開催できるよう尽力いたしますが、動画提出による審査になる可能性もございます。

部門	日程	申込期間	会場
ソナタB部門	12月19日（土）	予選結果発表～ 11月15日（日）	東音ホール
ジュニア部門 ソナタA部門	12月20日（日）		東音ホール

3歳以下のお子様のご入場はご遠慮願います。演奏中の写真撮影／録音はお断りしております。

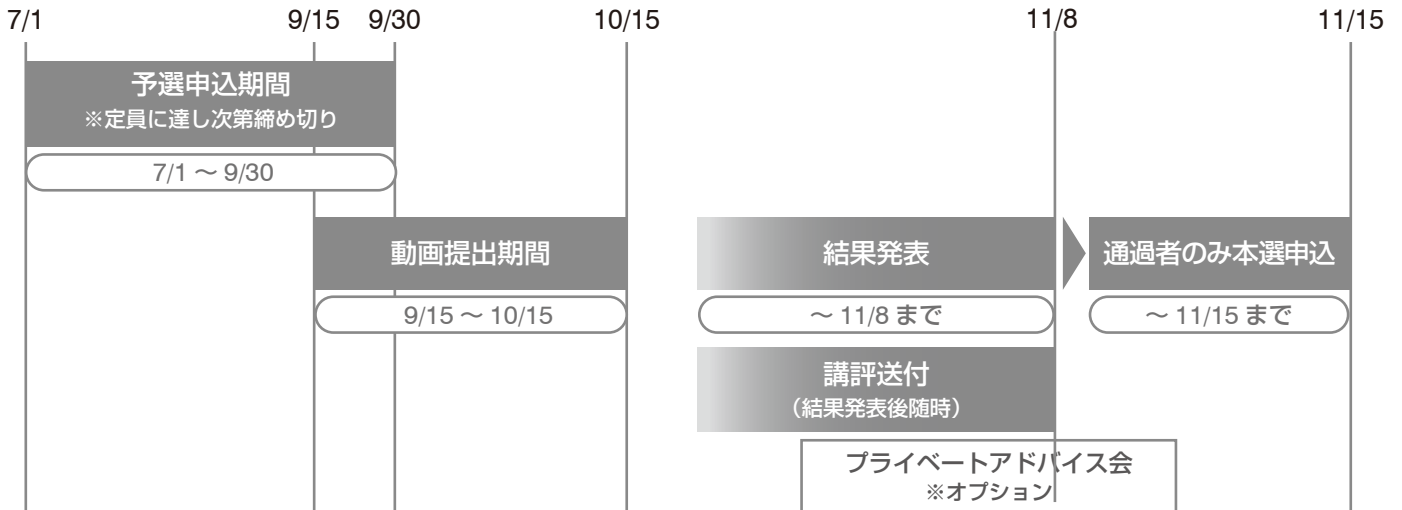
## <東音ホールへのアクセス>

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-15-1 宮田ビル 3F

JR 山手線・都営三田線 巢鴨駅南口より徒歩1分

※駐車場はございません。公共交通機関を使ってのご来場をお願いいたします。

# 申込～参加の流れ



## (1) 予選申込

右の QR コード (ピティナ提携コンクールの Web サイト) の「コンクール一覧」からソナタコンクールを選択し、お申し込みください。

※各地区、申込締切日にかかわらず、定員になり次第締め切ります。

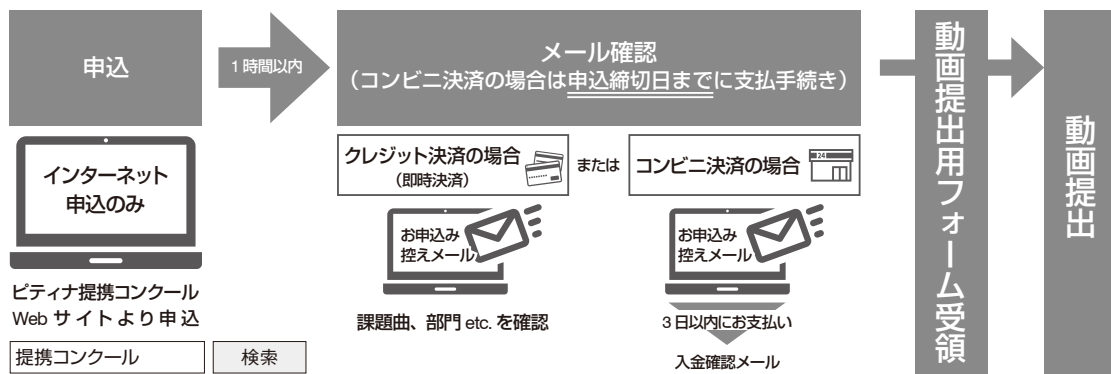
※ Web 申込の支払方法は、クレジットカード・コンビニ決済のいずれかになります。

また、システム使用料 (税込 330 円) を別途頂戴いたします。

・お申込みは 1 人 1 回のみとなり、複数部門の併願はできません。

・申込後のキャンセルはお受けできませんのでご了承ください。

ただし、申込後の登録内容 (曲目、学年、住所など) の変更は参加される地区の申込み締切日まで受け付けます。



## (2) 動画の提出

通常通り、ピティナ提携コンクールでのお申込・参加料お支払いとは別に、本部 (東音企画) に動画を提出していただき、予選の申込完了となります。以下の方法以外 (DVD/ メール添付など) での提出は一切受け付けができません。

### ■ 動画提出方法

(1) のエントリー完了後、ご登録いただいたメールアドレス宛に動画提出用フォームをお送りいたします。

YouTube に「限定公開」でアップロードいただいた動画 URL をご提出ください。

動画 URL の形式が、以下のいずれかの形式になっているか、ご確認ください。

<https://youtu.be/●●●●●>

<https://www.youtube.com/watch?v=●●●●●>

YouTube へのアップロード方法に関しては、以下のページ (右 QR コードより) もご参照の上、お手続きください。

[https://research.piano.or.jp/series/KeepOnMusic/2020/04/howto\\_upload.html](https://research.piano.or.jp/series/KeepOnMusic/2020/04/howto_upload.html)



## ■動画撮影の注意点

- ・提出動画は、2020年6月1日以降に撮影されたものとします。(自宅以外での撮影も可)
- ・原則として、横から、演奏者の全身とピアノの鍵盤部分及びペダリングが入るように撮影してください。楽器全体(ピアノの先端部)が入る必要はありません。全身の撮影が困難な場合には、最低限、鍵盤・手と横顔(頭部)が映るように調整してください。撮影環境により、映る範囲・向きに制限が生じる場合、必ずしも推奨アングル通りにならないことを許容します。
- ・映像及び音声を編集することを禁じます。データ上の音の加工・置き替え・エフェクトその他一切の編集を禁じます。違反した場合には失格となることがあります。
- ・演奏の前後にお辞儀、曲目の申告などは必要ありません。静止した状態から数秒の後に演奏をはじめ、途中、曲間に適切な間を空けて(ステージでの本番同様)、演奏終了後、数秒静止して止めてください。曲間も含めてノーカットで撮影してください。
- ・動画の中で、演奏者の氏名や所属等は名乗らず、映像内に身元が分かるものを置かないようにしてください。

## ■動画アップロードの注意点

YouTube にアップロードする際、動画情報は以下のようにご入力ください。  
タイトル・説明・プライバシーの3項目を入力します。

### ●タイトル

以下のようにしてください。

「ソナタコンクール予選」+「全角スペース」+「参加部門・コース」

(例) ソナタコンクール予選 ソナタ B 部門単楽章コース

※氏名など、個人情報は記載しないようにご注意ください。

※チャンネル名に氏名が入っている場合、個人の特定につながらないような名称に変更ください。

### ●説明

評価の際に用いることはありませんが、申込データとの照合のため、演奏曲名を記載してください。

### ●プライバシー

「限定公開」に設定してください。評価・フィードバックを受け取るまで、変更しないようにしてください。  
プライバシー設定を「限定公開」にした動画は、動画へのリンク(URL)を知っている人のみが閲覧できます。  
YouTube の検索結果にも表示されません。

※「非公開」に設定すると審査ができなくなりますのでご注意ください。

全ての記入が終わってから、アップロードを開始してください。

※動画 URL の取得方法については、以下のページ(右 QR コード)もご参考ください。

<https://compe.piano.or.jp/2020/06/challenge-submit.html>



## (3) 結果発表・講評送付

動画を提出いただいた後、11月8日(日)をめぐりに、Web サイト上で予選優秀賞・予選奨励賞受賞者を発表し、予選通過者には個別にご連絡をいたします。

また、参加者全員に順次、審査員からの評点・講評をメールにてお送りいたします。

予選申込時に記載いただいたメールアドレス宛に送付いたしますので、ご確認ください。

## (4) 本選・マスタークラス申込

予選終了後、通過者のみに配布される資料をもとに、各自、申込期限までに申込専用 Web サイトより申込をお願いいたします。申込開始までに、マスタークラスや本選の参加方法については各位にご連絡をいたします。

ソナタ B 部門全楽章コースの進出者の方でマスタークラスに参加できない方は必ず別途事務局までご連絡ください。

また、マスタークラスでの曲目は基本的には本選での演奏曲とさせていただきます。

万が一、当日通過者向けの資料を受け取らなかった方は、早急に事務局までご連絡ください。

# マスタークラス

※コロナウイルスの影響により、内容・開催場所などが変更となる場合がございます。  
詳しくはホームページをご覧ください。



当コンクールの特徴である「マスタークラス」は、  
最前線で活躍する一流のピアニスト・大学教授・研究者の先生方をお招きし、  
ソナタを題材として音楽全体への学びを深める機会として、  
ソナタ B 部門全楽章コースの本選進出者向けに無料で開講しております。

## ●聴講について

マスタークラスは一般公開しており、参加者に限らずどなたでも聴講いただけます。

聴講の予約は、ホームページよりお申し込みください。

また、ソナタコンクール参加者の方は、もれなくマスタークラスを無料で聴講いただけます。(別途申込要)

## ●講師

小鍛冶 邦隆先生 (東京藝術大学作曲科教授)

小田 裕之先生 (桐朋学園大学講師)

斎藤 龍先生 (沖縄県立芸術大学講師)

## オープニングセミナー (50分)

ピアニストの小田裕之先生より、ソナタ全楽章に挑むコンテストの皆さんに向け、最前線の知見を伝授いただきます。約50分間のご講演をいただきます。



## レッスン

小田裕之先生、斎藤龍先生のお二方から、本選で演奏する曲目について、ポイントレッスンをいただけます。1人25分～30分のレッスンをいずれかの先生から受講することができます。



## アカデミックレクチャー (75分)

小鍛冶邦隆先生より、作曲家の視点をもって音楽の「形式」について学ぶ座学形式の少人数セミナーとなります。ピアノの前から離れ、ソナタを学術的な観点から検討してみましょう。



## 個別相談会

講師の先生方に個別に相談をしていただける時間をご用意しています。演奏についてのアドバイスだけでなく、受験対策やピアニストとしてのキャリアなど、何でも自由に聞いてみましょう。





# 課題曲

## ◎ジュニア部門

【予選・本選】以下の作品群より1曲を選び、対象楽章より任意の1つの楽章を演奏すること。

作曲家	曲名	作品番号	楽章
クレメンティ	ソナチネ	Op.36-2	第1楽章、第3楽章
	ソナチネ	Op.36-3	第1楽章、第3楽章
	ソナチネ	Op.36-4	第1楽章、第3楽章
	ソナチネ	Op.36-5	第3楽章
	ソナチネ	Op.36-6	第1楽章、第2楽章
	ソナチネ	Op.37-2	第2楽章（メヌエットとトリオ）
	ソナチネ	Op.38-2	第2楽章
クーラウ	ソナチネ	Op.20-1	第1楽章、第3楽章
	ソナチネ	Op.20-2	全楽章
	ソナチネ	Op.20-3	第1楽章、第2楽章
	ソナチネ	Op.55-1	第1楽章、第2楽章
	ソナチネ	Op.55-2	第1楽章、第3楽章
	ソナチネ	Op.55-3	第1楽章、第2楽章
	ソナチネ	Op.55-4	第1楽章、第3楽章
	ソナチネ	Op.55-5	第2楽章
	ソナチネ	Op.55-6	第2楽章（メヌエットとトリオ）
	ソナチネ	Op.88-1	第1楽章、第2楽章
	ソナチネ	Op.88-2	第1楽章
デュセック	ソナチネ	Op.19-4 (20-4)	第1楽章
ディアベリ	ソナチネ	Op.151-1	第3楽章
	ソナチネ	Op.151-3	第1楽章、第3楽章
ベートーヴェン	ソナタ	Op.49-1	第1楽章、第2楽章
	ソナタ	Op.49-2	第1楽章、第2楽章
モーツァルト	ソナタ	第16番（第15番）K.545	全楽章
ハイドン	ソナタ	第1番（ト長調）	Hob.XVI:8 全楽章
	ソナタ	第2番（ハ長調）	Hob.XVI:7 全楽章
	ソナタ	第3番（ヘ長調）	Hob.XVI/9 全楽章
	ソナタ	第4番（ト長調）	Hob.XVI:G1 全楽章
	ソナタ	第6番（ハ長調）	Hob.XVI:10 全楽章
	ソナタ	第9番（ニ長調）	Hob.XVI:4 全楽章
	ソナタ	第10番（ハ長調）	Hob.XVI:1 全楽章

## ◎ソナタ A 部門

〈単楽章コース〉

## 【予選・本選】

以下の作品群より 1 曲を選び、任意の 1 つの楽章を演奏すること。

〈全楽章コース〉

## 【予選】

以下の作品群より 1 曲を選び、任意の 1 つの楽章を演奏すること。

## 【本選】

以下の作品群より 1 曲を選び、全楽章を演奏すること。

作曲家	番号	調性	作品番号	作曲家	番号	調性	作品番号	
ハイドン	第 13 番	ト長調	Hob.XVI:6	モーツァルト	第 1 番	ハ長調	K.279	
	第 15 番	ホ長調	Hob.XVI:13		第 2 番	ヘ長調	K.280	
	第 34 番	ニ長調	Hob.XVI:33		第 3 番	変ロ長調	K.281	
	第 36 番	ハ長調	Hob.XVI:21		第 4 番	変ホ長調	K.282	
	第 37 番	ホ長調	Hob.XVI:22		第 5 番	ト長調	K.283	
	第 38 番	ヘ長調	Hob.XVI:23		第 7 番	ハ長調	K.309	
	第 39 番	ニ長調	Hob.XVI:24		第 8 番	イ短調	K.310	
	第 40 番	変ホ長調	Hob.XVI:25		第 9(8) 番	ニ長調	K.311	
	第 41 番	イ長調	Hob.XVI:26		第 10 番	ハ長調	K.330	
	第 42 番	ト長調	Hob.XVI:27		第 11 番	イ長調	K.331	
	第 43 番	変ホ長調	Hob.XVI:28		第 12 番	ヘ長調	K.332	
	第 45 番	イ長調	Hob.XVI:30		第 17(16) 番	変ロ長調	K.570	
	第 46 番	ホ長調	Hob.XVI:31		ベートーヴェン	第 1 番	ヘ短調	Op.2-1
	第 47 番	ロ短調	Hob.XVI:32			第 5 番	ハ短調	Op.10-1
	第 48 番	ハ長調	Hob.XVI:35			第 6 番	ヘ長調	Op.10-2
	第 49 番	嬰ハ短調	Hob.XVI:36	第 9 番		ホ長調	Op.14-1	
	第 50 番	ニ長調	Hob.XVI:37	第 10 番		ト長調	Op.14-2	
	第 51 番	変ホ長調	Hob.XVI:38	第 25 番		ト長調	Op.79	
	第 52 番	ト長調	Hob.XVI:39	選帝侯ノタ第 1 番		変ホ長調	WoO 47-1	
	第 53 番	ホ短調	Hob.XVI:34	選帝侯ノタ第 2 番		ヘ短調	WoO 47-2	
	第 54 番	ト長調	Hob.XVI:40	選帝侯ノタ第 3 番		ニ長調	WoO 47-3	
	第 55 番	変ロ長調	Hob.XVI:41					
	第 56 番	ニ長調	Hob.XVI:42					
	第 57 番	ヘ長調	Hob.XVI:47					
	第 58 番	ハ長調	Hob.XVI:48					
	第 59 番	変ホ長調	Hob.XVI:49					

## ◎ソナタ B 部門

以下の作品群より任意の1曲（注）を選び、以下の通り演奏すること。予選と本選で異なる作品を選択してもよい。

〈単楽章コース〉

【予選・本選】 任意の1つの楽章を演奏すること。

〈全楽章コース〉

【予選】 任意の1つの楽章を演奏すること。

【本選】 全楽章を25分以内にまとめ演奏すること。

作曲家	番号	調性	作品番号	作曲家	番号	調性	作品番号
ハイドン	第31番	変イ長調	Hob.XVI:46	ベートーヴェン	第15番	ニ長調	Op.28
	第33番	ハ短調	Hob.XVI:20		第16番	ト長調	Op.31-1
	第60番	ハ長調	Hob.XVI:50		第17番	ニ短調	Op.31-2
	第62番	変ホ長調	Hob.XVI:52		第18番	変ホ長調	Op.31-3
モーツァルト	第6番	ニ長調	K.284		第21番	ハ長調	Op.53
	第13番	変ロ長調	K.333		第22番	ヘ長調	Op.54
	第14番	ハ短調	K.457		第23番	ヘ短調	Op.57
	第15(18)番	ヘ長調	K.533		第24番	嬰ヘ長調	Op.78
	第17(16)番	変ロ長調	K.570		第26番	変ホ長調	Op.81a
	第18(17)番	ニ長調	K.576		第27番	ホ短調	Op.90
ベートーヴェン	第2番	イ長調	Op.2-2		第28番※	イ長調	Op.101
	第3番	ハ長調	Op.2-3	第30番※	ホ長調	Op.109	
	第4番	変ホ長調	Op.7	第31番	変イ長調	Op.110	
	第7番	ニ長調	Op.10-3	第32番	ハ短調	Op.111	
	第8番	ハ短調	Op.13	※13番/28番/30番について 予選では、 ・13番/28番の3,4楽章 ・30番の1,2楽章 は連続した1つの楽章として演奏して下さい。 予選申込の際は1楽章・3楽章として記載して下さい。			
	第11番	変ロ長調	Op.22				
	第12番	変イ長調	Op.26				
	第13番※	変ホ長調	Op.27-1				
	第14番	嬰ハ短調	Op.27-2				

## ■課題曲・演奏についてのご注意事項（全部門共通）

- ・本選では原則カットは致しませんが、進行の都合上やむを得ずカットを行う場合がございます。
- ・各部門につき、指定する課題曲を暗譜で演奏してください。楽譜の版指定はございません。
- ・予選と本選で異なる曲や異なる楽章を演奏してもかまいません。単楽章の場合、楽章を変えての参加もできます。
- ・繰り返しはすべて省略とします。1,2カッコがある場合、1カッコを飛ばして2カッコを演奏してください。
- ・メヌエットとトリオがある場合、両方を弾いて1楽章とみなします。
- ・参加票記載の登録曲目と異なる曲を演奏した場合、失格となりますのでご注意ください。

# Q&A / お問い合わせ

詳細は公式 Web サイトの Q&A コーナーでもご案内しております。  
お問い合わせ前にご一読ください。



## 予選の申込方法・変更申請について

予選の申込方法などについてのお問合せは「ピティナ提携コンクール」となります。  
以下の QR コードを読み取って、  
フォームよりお問い合わせください。



メール : [partners@piano.or.jp](mailto:partners@piano.or.jp)

## コンクール全般・本選について

以下の QR コードを読み取って、  
フォームよりお問い合わせください。



メール : [sonata@to-on.com](mailto:sonata@to-on.com)

### ◆運営事務局

株式会社東音企画

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-15-1-5F

Tel:03-3944-1581

e-mail: [sonata@to-on.com](mailto:sonata@to-on.com)

## 合格体験記

### (第2回優勝・東京藝術大学合格)

予選は大阪で参加しましたが、マスタークラス、コンクール本番でピティナ特級でも審査されている大学の先生方から講評を頂いたり、レッスンをして頂いたりして、「東京に行った甲斐があった」と感じる充実した日々を送ることが出来ました。

特にマスタークラスでは、レッスンや相談会で、講師の先生と一対一でお話ができ、これまで感覚的に弾いてきたこと、自分の中であまり意識していなかった部分を細かく聞くことができ、学びの多い一日となりました。 どうアナリーゼするか、その分析をどう解釈して演奏に落とし込むかを学ぶ事ができ、受験前の2か月間、有意義な準備期間を過ごせました。大学でもさらに深い勉強を続けていきたいと思えます。



伊達 広輝さん